授業科目名・形態	哲　学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	西巻　丈児	実務経験の有無	無	開講期	１～２年前期
科目ナンバリング	C1-1002R				

【授業の主題】

生きることの根源とされる「いのち」とは、いったい何なのでしょうか。その「いのち」を問題とする「哲学」とは、どのようなものなのでしょうか。

この授業では、「生」と「死」にまつわる哲学的問題を、「自己決定の概念」（自分に関連することは自身の意志で決定する）を柱にして考えていきます。つねに私たちの身近にある生と死についての哲学の諸問題を、受講生各自が「自分の問題」として考えられるよう、ドキュメンタリー映像や文字資料などもふんだんに交えながら授業を進めていき、それを自分の言葉で表現してもらいます。

【到達目標】

１．生命についての哲学的な問題を、説明することができる。
２．生命についての哲学的な問題を、議論することができる。
３．自分のこれからの生き方を見つめる視点を養うことができる。

【授業計画・内容】

第01回　「哲学」が問うこと・もの　－「いのち・生命」をめぐってー
第02回　人間のいのちをめぐる諸問題の概観　－生命の価値とはー
第03回　重度障害新生児をめぐって　－「パーソン論」の問題ー
第04回　医療従事者のあり方　－看護師とは？　あるいは　看護とは？ー
第05回　自己決定権とパターナリズム　－インフォームドコンセントについてー
第06回　「生」を考える　－自己決定権と「いのち」についてー
第07回　「生き方」を考える　－生き方の自己決定と尊厳ある死ー
第08回　「死」を見つめる１　－世界にみる死の自己決定ー
第09回　「死」を見つめる２　－死を決定する権利をめぐってー
第10回　「死」を見つめる３　－緩和医療の論理ー
第11回　「家族」の自己決定　－女性の権利の問題についてー
第12回　「家族」の選択　－脳死と臓器提供の問題についてー
第13回　「家族」の役割　－生と死の判定をめぐってー
第14回　「家族」の意味　－最期のときをどう決めるー
第15回　総論　－日本人の死生観についてー

【授業実施方法】

講義形式で行います。

【事前・事後学習】

授業の内容は全体的に連関しているので、毎回、配布する資料を復習しておき、前の回までの内容を自分なりに考えて授業に臨むようにしてください（２時間以上)。

また、配布資料に参考文献を記載しているので、それも復習する際に参考してください（２時間以上)。

【主な関連する科目】人間の理解、医療的ケア、看護倫理

【教科書等】

特に指定はしません。ポータルサイトにて、毎回配布する資料が教科書の代わりとなります。

また、パワーポイント、映像資料や文字資料も使用します。

【参考文献】

毎回配布する資料に参考文献を挙げますので、それを参考にして復習してください。

【成績評価方法】

学期末に実施する論述試験５０％、授業時に提出するリアクションペーパー２０％、そしてレポート課題３０％を総合的に評価します。

【学生へのメッセージ】

身近に「死」を見つめながら「人間」らしく善く生きることや、自分のみならず他者の「幸福」についても見据えて生きることは、決して容易なことではないでしょう。しかし、それらの難題を真摯に受け止め、倫理的葛藤やディレンマに対処しつつ、その思索の過程をどのようにみずからの「生き方」に反映させていくべきかを考えることで、各自の答えを導くヒントが見つかるかもしれません。自身の生き方に関わる大切な問題を、この授業を通じて一緒に考えていきましょう。